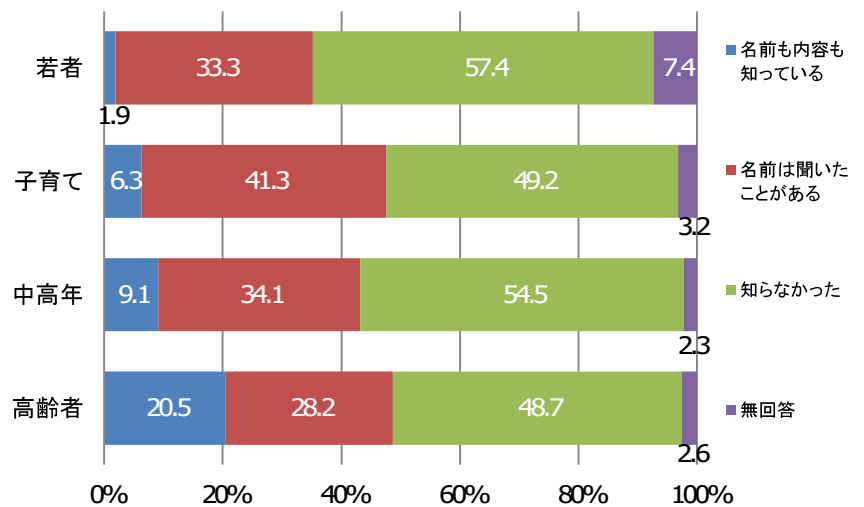
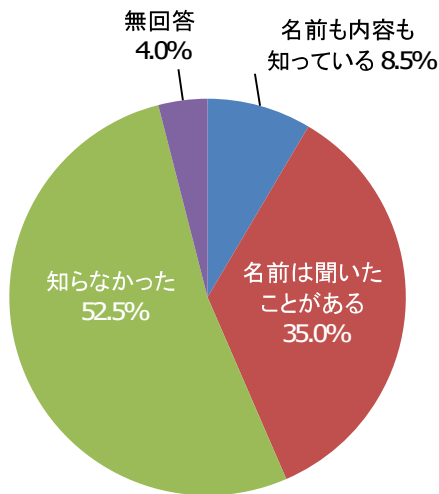


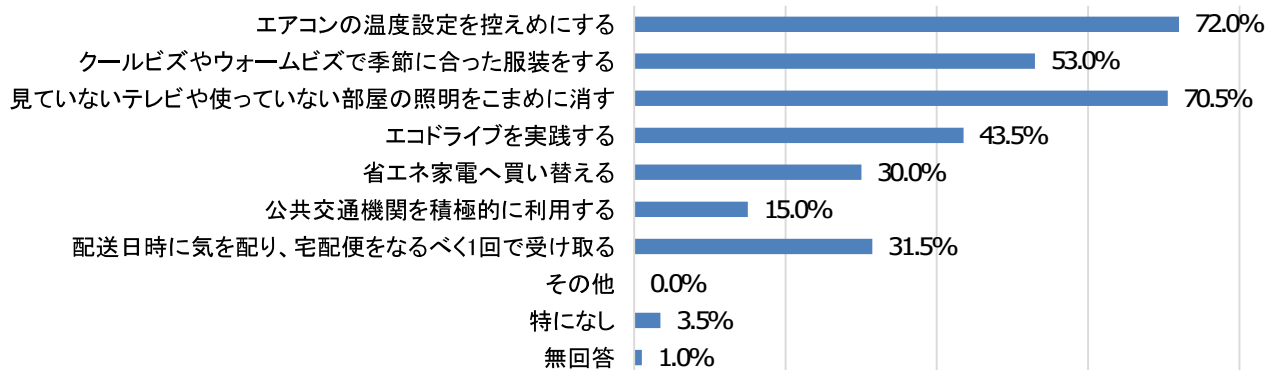
<地球温暖化対策について>

■ 問1 「クールチョイス(=賢い選択)」の認知度 (N=200)



- 「クールチョイス(=賢い選択)」の認知度は、『知っている』(「名前も内容も知っている」と「名前は聞いたことがある」の合計)が約4割となっています。
- 世代別にみると、若者・中高年の約4割が、子育て・高齢者の約5割が『知っている』と回答しています。

■ 問2 日ごろ実践している温暖化対策 (N=200 複数回答)

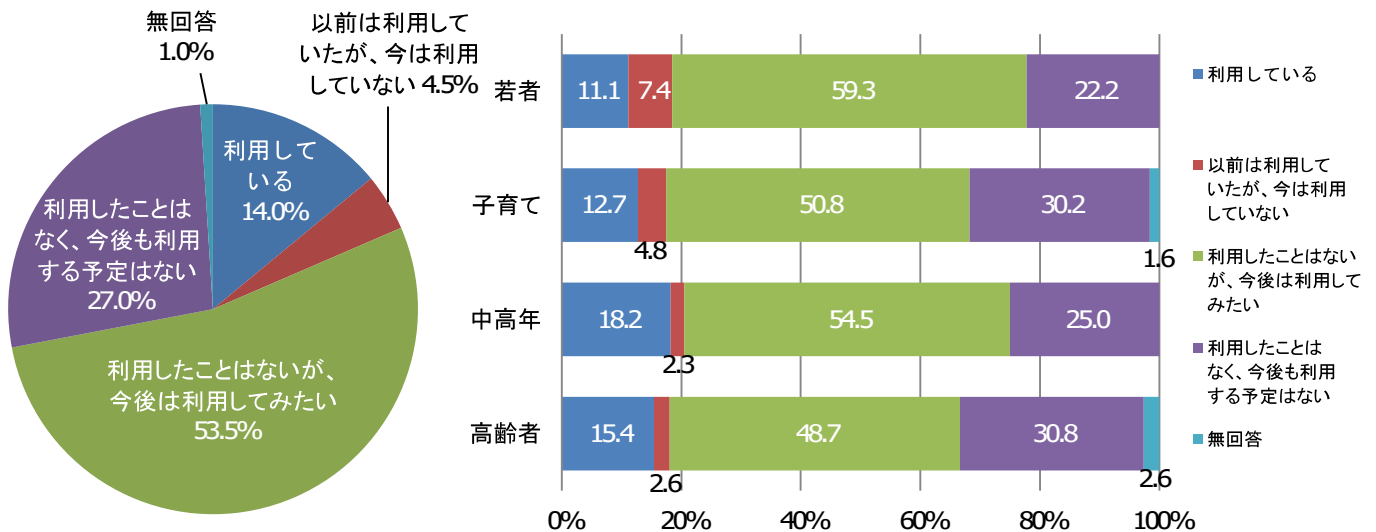


(%)	若者	子育て	中高年	高齢者
エアコンの温度設定を控えめにする	70.4	63.5	81.8	76.9
クールビズやウォームビズで季節に合った服装をする	48.1	47.6	61.4	59.0
見ていないテレビや使っていない部屋の照明をこまめに消す	74.1	65.1	70.5	74.4
エコドライブを実践する	38.9	36.5	52.3	51.3
省エネ家電へ買い替える	24.1	31.7	20.5	46.2
公共交通機関を積極的に利用する	9.3	6.3	22.7	28.2
配送日時に気を配り、宅配便をなるべく1回で受け取る	14.8	33.3	38.6	43.6
その他	-	-	-	-
特になし	3.7	7.9	-	-
無回答	1.9	1.6	-	-

- 日ごろ実践している温暖化対策については、「エアコンの温度設定を控えめにする」と「見ていないテレビや使っていない部屋の照明をこまめに消す」が約7割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育てでは「見ていないテレビや使っていない部屋の照明をこまめに消す」が、中高年・高齢者では「エアコンの温度設定を控えめにする」が最も多い回答となっています。

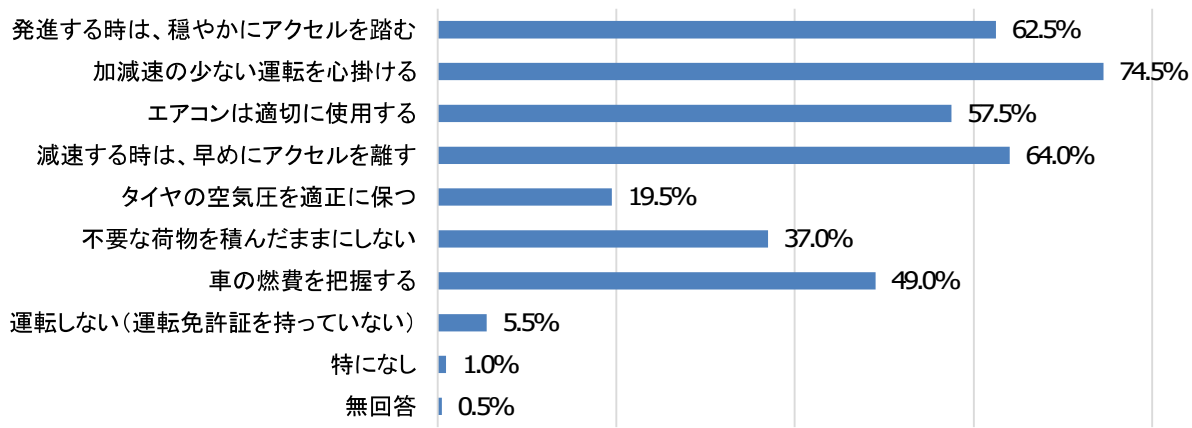
問3 クールシェアスポット/ウォームシェアスポット※の利用 (N=200)

※ クールシェアスポット/ウォームシェアスポット: 暑さ寒さをしのぎ、快適な時間を過ごせる施設として開放されている、市内の公共施設や商業施設



- クールシェアスポット/ウォームシェアスポットの利用については、「利用したことはないが、今後は利用してみたい」が約5割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「利用したことはないが、今後は利用してみたい」が最も多い回答となっています。

問4 車の運転に関して気を付けていること (N=200 複数回答)

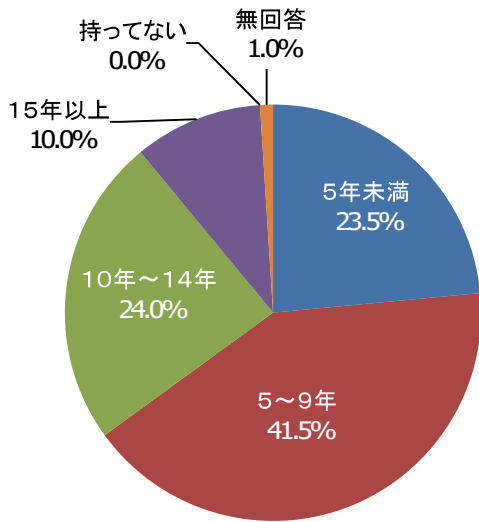


(%)	若者	子育て	中高年	高齢者
発進する時は、穏やかにアクセルを踏む	63.0	58.7	68.2	61.5
加減速の少ない運転を心掛ける	72.2	71.4	79.5	76.9
エアコンは適切に使用する	55.6	58.7	61.4	53.8
減速する時は、早めにアクセルを離す	64.8	58.7	75.0	59.0
タイヤの空気圧を適正に保つ	3.7	25.4	22.7	28.2
不要な荷物を積んだままにしない	24.1	41.3	47.7	35.9
車の燃費を把握する	40.7	50.8	63.6	41.0
運転しない(運転免許証を持っていない)	5.6	-	2.3	17.9
特になし	-	1.6	2.3	-
無回答	-	1.6	-	-

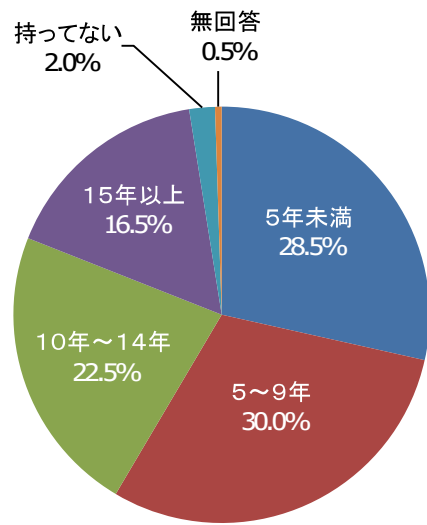
- 車の運転に関して気を付けていることについては、「加減速の少ない運転を心掛ける」が約7割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「加減速の少ない運転を心掛ける」が最も多い回答となっています。

■問5 家庭で使用する電化製品の使用年数 (N=200)

【冷蔵庫】

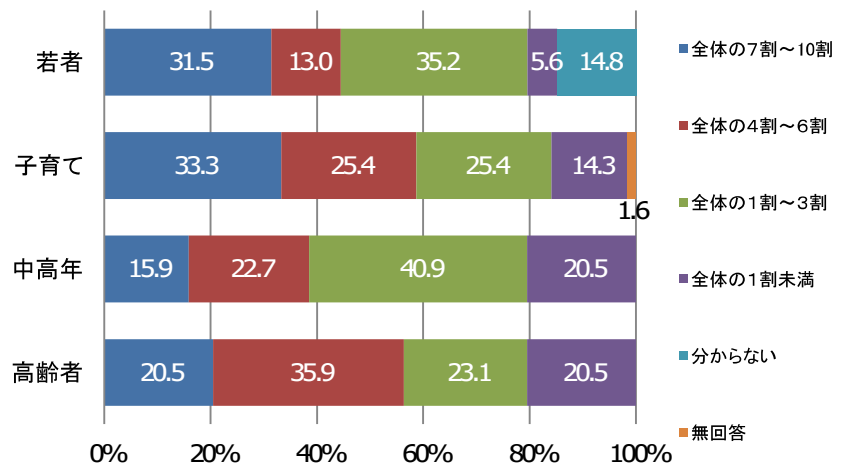
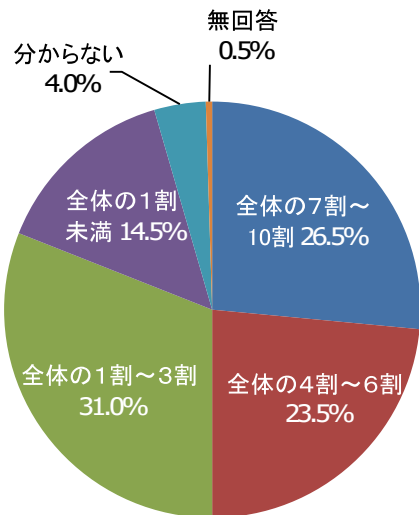


【エアコン】



- 冷蔵庫の使用年数については、「5~9年」が約4割と最も多くなっています。
- エアコンの使用年数については、「5~9年」が最も多く、次いで「5年未満」も約3割となっています。

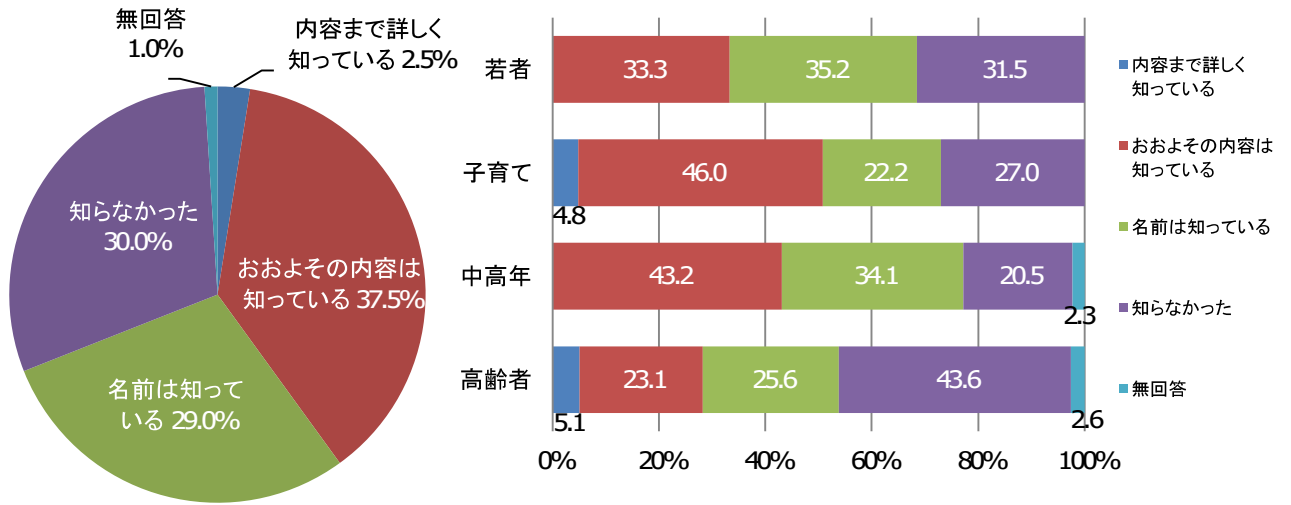
■問6 家庭で使用する照明をLED化している割合 (N=200)



- 家庭で使用する照明をLED化している割合については、「全体の1割~3割」が約3割と最も多く、次いで「全体の7割~10割」となっています。
- 世代別にみると、若者・中高年では「全体の1割~3割」が、子育てでは「全体の7割~10割」が、高齢者では「全体の4割~6割」が最も多い回答となっています。

問7 「統一省エネルギーラベル制度(省エネラベル)※」の認知度 (N=200)

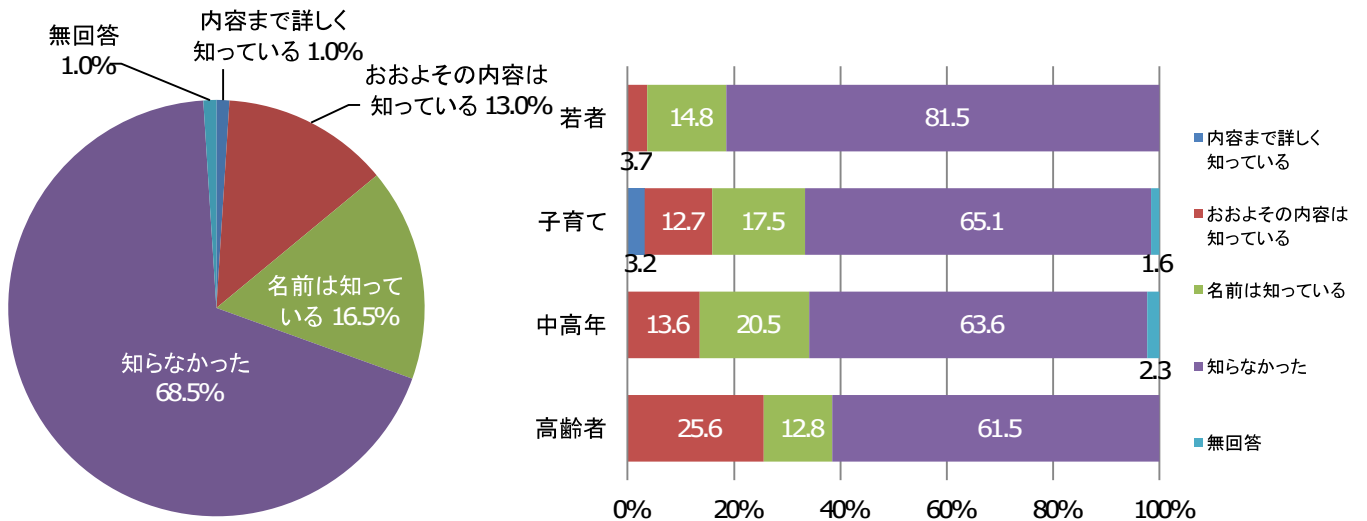
※ 統一省エネルギーラベル制度(省エネラベル): 製品の省エネルギー性能を星の数で表し、年間の目安電気料金を表示するラベル。エアコン、電気冷蔵庫、照明器具等に表示されている。



- 「統一省エネルギーラベル制度(省エネラベル)」の認知度については、『知っている』(「内容まで詳しく知っている」と「おおよその内容は知っている」と「名前は知っている」の合計)が約7割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育ての約7割が、中高年の約8割が、高齢者の約5割が『知っている』と回答しています。

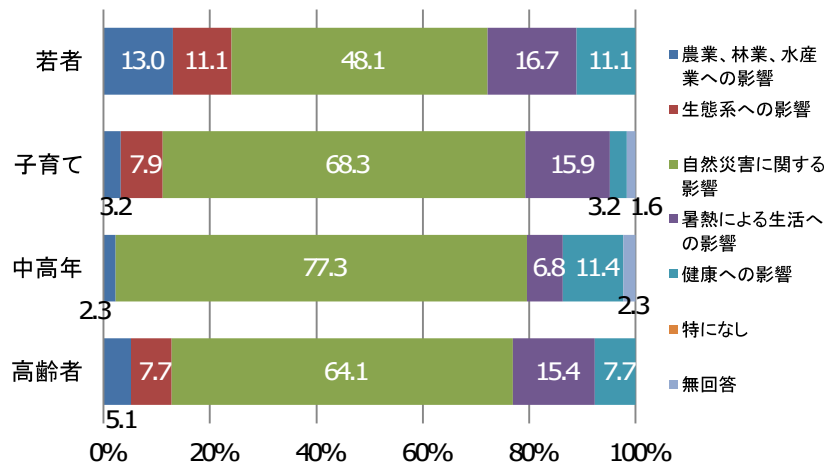
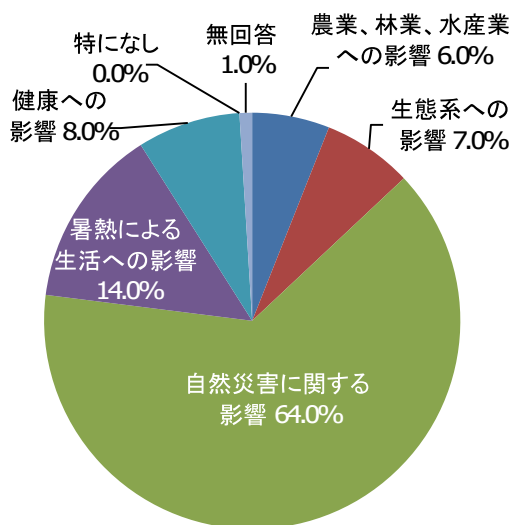
問8 「適応策※」の認知度 (N=200)

※ 適応策: 既に生じている、あるいは将来予測される気候変動(地球温暖化)の影響による被害を回避、軽減する対策



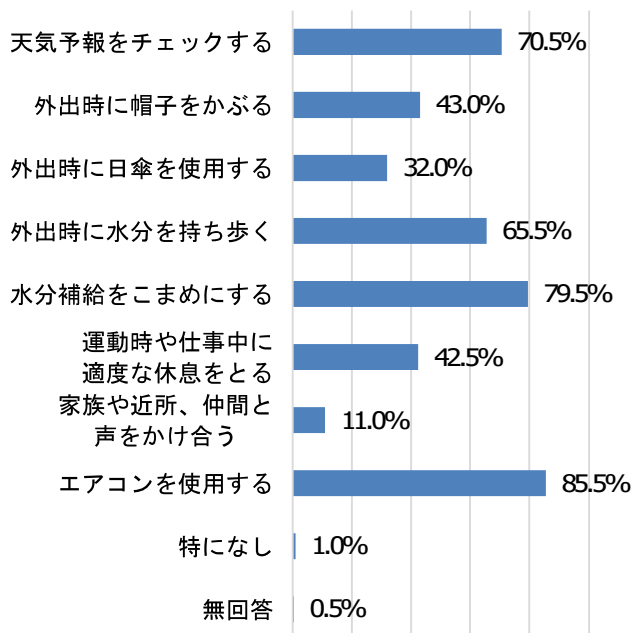
- 「適応策」の認知度については、『知っている』(「内容まで詳しく知っている」、「おおよその内容は知っている」と「名前は知っている」の合計)が約3割となっています。
- 世代別にみると、年代が高くなるにつれて『知っている』の回答割合が高くなっています。

問9 地球温暖化の影響で最も心配なこと (N=200)



- 地球温暖化の影響で最も心配なことについては、「自然災害に関する影響」が約6割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「自然災害に関する影響」が最も多い回答となっています。

問10 暑熱による生活への影響に対して実施していること (N=200 複数回答)



	(%)	若者	子育て	中高年	高齢者
天気予報をチェックする	70.5	63.0	73.0	77.3	69.2
外出時に帽子をかぶる	43.0	48.1	41.3	31.8	51.3
外出時に日傘を使用する	32.0	22.2	31.7	31.8	46.2
外出時に水分を持ち歩く	65.5	59.3	66.7	61.4	76.9
水分補給をこまめにする	79.5	74.1	81.0	75.0	89.7
運動時や仕事中に適度な休息をとる	42.5	40.7	34.9	47.7	51.3
家族や近所、仲間と声をかけ合う	11.0	1.9	14.3	13.6	15.4
エアコンを使用する	85.5	83.3	88.9	86.4	82.1
特になし	1.0	-	1.6	2.3	-
無回答	0.5	-	-	2.3	-

- 暑熱による生活への影響に対して実施していることについては、「エアコンを使用する」が約9割と最も多く、次いで「水分補給をこまめにする」が約8割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・中高年では「エアコンを使用する」が、高齢者では「水分補給をこまめにする」が最も多い回答となっています。